

第八回アフリカ開発会議（TICAD8）に向けた 我が国の開発協力に関する決議のポイント

（前文）TICAD8の位置付け

- ・パンデミックを克服し、その後に続く未来に向かって社会を再構築していく転換点。
- ・ウクライナ侵略を背景に、我が国が法の支配に基づく国際秩序を守り抜く覚悟を広く発信する機会。

1. TICADプロセスを通じた法の支配に基づく国際秩序の重要性の発信

- ・国連での対ロシア非難決議において、多数のアフリカ諸国が棄権・不投票。
- ・インド太平洋地域における共通の価値や原則に基づく平和と繁栄の確保が重要。
- ・国連改革を含めた国際秩序の立て直しに主体的な役割を果たしていくべき。

2. ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの重点強化と人材の定着

- ・アフリカにおける保健医療の基盤は依然として脆弱。
- ・人々に一番近いところで適切な保健医療等を供給するシステムの強化が重要。
- ・人材育成を重点的に進めるとともに、人材を地元に着させる取組を加速すべき。
- ・貧困や飢餓等の課題が山積する中、SDGs達成に向けた支援に留意すべき。

3. アフリカの潜在力を引き出すための民間投資の促進

- ・アフリカ経済を持続的発展に乗せる上で、民間投資に大きな役割が期待される。
- ・日本企業からの投資が遅れている実情について、総括する必要がある。
- ・アフリカでスタートアップが躍進する中、日本の若手起業家への支援が重要。
- ・投資が進まない背景には、人間の安全保障が満たされていない状況も深く関与。政治の安定化、治安・公衆衛生の改善、良質な労働力の育成等に取り組むべき。

4. NGO・起業家との連携強化

- ・NGOなどの市民社会組織は、我が国ODAの一翼を担う主要な主体である。
- ・ビジネスを通して社会問題に取り組むスタートアップは重要な役割を果たす。
- ・NGOや起業家をパートナーとして位置付け、連携を強化していくべき。

5. 国民に理解されるODA

- ・非軍事的な国際協力が主体の我が国にとってODAは重要で、予算拡充が求められる。
- ・厳しい財政状況の中で、ODAの意義について国民一人一人の理解が必要。
- ・データに基づく科学的な検証により、ODAの効果を示す取組を進めるべき。